

ご関心のありそうな方々に、広くご回覧頂けると幸いです

日本経済調査協議会  
シンポジウム

資源大国ブラジルと日本の対応

石油や食料などの資源高騰の流れや、ブラジル移民 100 周年を迎え、ブラジルへの関心は高い。わが国とブラジルとの経済的つながりの中核は、鉱産・農産品などの一次産品である。短期的には量的増減があるものの、資源貧国日本にとって、これら産品の調達先としてのブラジルの重要性はこれからも変わらないし、グローバルな資源争奪の激化の下では、むしろより重要となる。

このような認識のもとで、個別の単品の枠を超えて、資源大国としてのブラジルをわが国がどのように理解し、位置づけていくべきか、わが国におけるブラジルの最先端の研究者により、報告とディスカッションを展開する。

1. 日時：2008年11月7日（金）14時30分～16時30分

2. 場所：航空会館5階 定員100名

（東京都港区新橋1-18-1、TEL:03-3501-1272）

3. パネリスト

西島 章次 氏（神戸大学経済経営研究所教授）

：経済改革と資源貿易による躍進とマクロ面の課題

小池 洋一 氏（立命館大学経済学部教授）

：資源を軸とした産業コンプレックスの形成と供給能力

堀坂浩太郎 氏（上智大学外国語学部兼イベロアメリカ研究所教授）

：多国籍資源企業の形成と世界展開

子安 昭子 氏（神田外語大学国際言語文化学科准教授）

：資源国の外交戦略ーグローバル・プレイヤーへの変貌

（司会進行：堀坂浩太郎 氏）

4. 申込方法：添付の参加申込用紙を FAX にてお送りください（参加費無料）

\*\*\*\*\*

本件照会先：社団法人 日本経済調査協議会（担当：高野・石川）

TEL：03-3442-9400 FAX：03-3442-9403

メール：cjeri@nikkeicho.or.jp

ご出席される方は、10月20日(月)までに  
ご返信頂けますよう、ご協力をお願い申し上げます

シンポジウム「資源大国ブラジルと日本の対応」参加申込用紙

★日時：2008年11月7日(金) 14時30分～16時30分

場所：航空会館5階(東京都港区新橋1-18-1)

貴社・団体名

---

ご所属・役職

---

ご芳名

---

ご連絡先

TEL

---

FAX

---

※ご記入いただいた個人情報は、当該シンポジウムに関する連絡・記録のために使用するものです。

航空会館：JR新橋駅 日比谷口(機関車のある出口)徒歩5～6分前後  
地下鉄新橋駅 ⑦出口 東京メトロ(旧営団)銀座線/都営浅草線  
地下鉄内幸町駅 A2出口 都営三田線

